



一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会 通信Vol.1

益田グローバルヘッドクォーター (Global Headquarters)

〒698-0024 島根県益田市駅前町17番1号 EAGA 産業支援センター内 2020/07/07

ごあいさつ



このたび、一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会(MCSCC)の代表理事に就任した橋本剛です。これまで監事でしたが、益田出身の又賀前代表理事の後任としてこの4月に着任いたしました。

ご承知の通り新型コロナウイルス関連の移動自粛によりご挨拶もままならないまま夏を迎えつつあり、せめて文章でご挨拶をしたいと思います次第です。

私たちMCSCCは、従来のスマートシティ事業は技術主導型の展開となりがちだったと考えています。大都市の大企業が持つ技術をどう地方に展開するかが主眼となってしまう、地域課題の洗い出しと解決できる技術の模索こそが大事であることなど、忘れられがちだったのではないのでしょうか。

私たちは2016年にプロジェクトをスタートさせましたが、ヒアリングから浮かび上がってきたのは、災害対策とヘルスケア(健康)、インフラ保全でした。これが益田で一番最初に解決すべきことだと考え、ここから取り組み始めました。

この取り組みは、令和元年度に国土交通省のスマートシティ「先行モデルプロジェクト」15カ所のうちのひとつに選定していただきました。

今後、中央省庁との調整などが多くなってくるとの見通しから、農林水産省での行政経験を踏まえて監事としてかかわってきた私に代表理事の打診があり、当地出身の又賀前代表理事の足下にも及びませんが、できることは果たそうと考えてお受けしました。技術を含めて全体設計を担う専務理事の豊崎禎久も代表理事に就任し、両者で共同代表を務めてまいります。

この先私たちが実現したいと思っているのは、若い世代に仕事がきちんとあって、人々が移住してくる益田です。大企業と連携し、ベンチャーキャピタルを呼び込み、起業家を支援するという姿も描いています。益田発の新しい産業ができると思います。また、協議会の会員になっている八代商工会議所がある八代市などとの都市間連携も進め、地域防災を

重視する「益田モデル」を広げていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

2020年7月7日

橋本剛

【新代表理事プロフィール】

早稲田大学総合研究機構招聘研究員／一般社団法人出島総研代表理事／元農林水産省改革推進室長

川崎からのエール

昨年、私が川崎商工会議所の会頭を務めていたときに益田商工会議所の松永会頭と両商工会議所の友好協定を結びました。

かくも縁の深い益田に基盤を置く「一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会」の代表理事に、旧知の橋本剛さんが就任したのにはほんとうに驚き、人の縁の不思議さを感じています。

橋本剛さんに出会ったのは30年近く前、私が「日本起業家協会」を立ち上げて間もない頃です。当時は早稲田の学生さんで、協会の会合に顔を出したりしてくれていました。地方の活性化と情報通信という、当時だと「両極端」にみえる分野に強い関心を持っていたのが印象に残っています。

その後、彼は農林水産省に進み、当時はまだ理解が広がらなかった「日本の農林水産物・食品の輸出促進」の体制を政府内にベンチャーのごとく立ち上げ、今や1兆円産業になろうとしています。10年前に農林水産省を飛び出し、現在地方活性化に尽力している橋本剛さんが、農政とITの両輪を活かして、益田のスマートシティづくりの牽引車となってくれることを心より期待しています。

2020年7月

川崎商工会議所名誉会頭 (前会頭)

山田 長満

